月刊 しぼうら

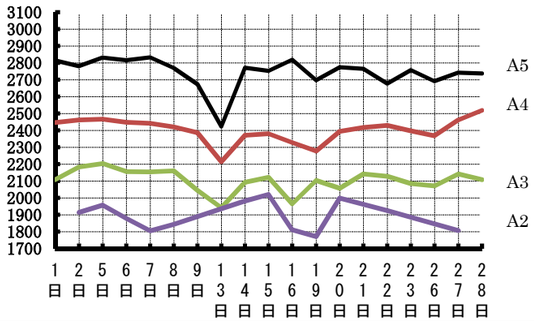
2018年 3月号

大動物事業部

＜2月の相場動向＞

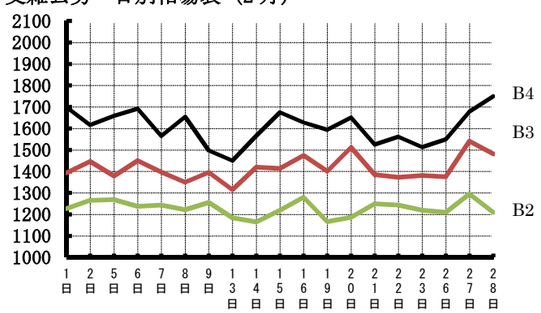
和牛去勢A5が前月比6円高の2,766円（前年同月比65円安）、A4が29円高の2,408円（同62円安）、A3が34円高の2,112円（同114円安）、A2が12円高の1,868円（同104円安）となった。交雑牛去勢はB4が3円高の1,603円（同130円安）、B3が69円高の1,425円（同117円安）、B2が35円高の1,231円（同105円安）となり、末端消費の低迷状況が続いており和牛、交雑牛ともに相場は前月から変わらず弱もちあいの相場動向となった。

和牛去勢　日別相場表（2月）



和牛去勢月平均		前年同月比	前月比
A5	2,766円	97.7%	100.2%
A4	2,408円	97.5%	101.2%
A3	2,112円	94.9%	101.6%
A2	1,868円	94.7%	100.6%

交雑去勢　日別相場表（2月）



交雑去勢月平均		前年同月比	前月比
B4	1,603円	92.5%	100.2%
B3	1,425円	92.4%	105.1%
B2	1,231円	92.1%	102.9%

乳牛去勢月平均		前年同月比	前月比
B3	上場なし		
B2	984円	100.1%	100.1%

＜3月の全国出荷頭数予測＞

家畜改良センターがまとめた平成30年1月末現在の個体識別情報による総飼養頭数は、前年比0.7%増の384万6,055頭となった。29年3月より11カ月連続で前年を上回っている。

黒毛和種は増加、乳用種は減少傾向、交雑種はわずかな減少幅ではあるが昨年11月より2カ月連続での減少となり増加傾向が頭打ちとなっている。農畜産業振興機構による3月の出荷予測頭数は、前年比0.1%増の8万3,100頭と予測している。品種別にみると和牛は2.3%増の3万3,800頭、交雑種は5.6%増の1万9,500頭、乳用種は5.4%減の2万8,500頭としている。東京食肉市場の3月のと畜頭数は7,100頭を予定している。

＜3月の牛枝肉相場見通し＞

3月の枝肉相場動向は、季節がら気温上昇とともに行楽や謝恩シーズン等、催事需要の手当て買いなどで一定の需要が見込まれるものの、末端需給の大きな回復は見込めない状況であるため枝肉相場は前月相場のもちあいで推移する相場展開が予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,700 ～ 2,800	B4	1,550 ～ 1,650
A4	2,350 ～ 2,450	B3	1,400 ～ 1,500
A3	2,000 ～ 2,100	B2	1,200 ～ 1,300
A2	1,800 ～ 1,900		
乳牛去勢			
B3	1,100 ～ 1,150		
B2	900 ～ 1,000		

＜3月の牛肉輸入量予測＞

財務省の貿易統計によると、1月の輸入牛肉通関実績は前年同月比2.6%増の3万5,631ｔと前年を上回った。チルドは前月から5,000ｔ弱減少したものの、1万9,000ｔ（前年同月比6.2%増）と前年実績を上回った。フローズンは前月から6,000ｔ減少して1万7,000ｔ(同1.0%減)と下回った。農畜産業振興機構の予測による3月の牛肉輸入数量は、前年比9.7%減の3万9,300ｔと予測。チルドは、豪州産、米国産ともに輸入量の増加が見込まれる中、3月は2.3%減の2万1,600ｔと予測しているが、1～3月の各月で過去5年平均を大幅に上回る2万ｔ前後で推移すると予測され、3カ月平均でも、前年同期比6.7%増とかなりの程度上回ると予測している。フローズンは、17.2%減の1万7,800ｔで、在庫を調整する動きもみられ、3カ月平均では前年同期を下回る9.2%減の1万9,000ｔ前後にとどまると予測される。

輸入牛肉通関量		1月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	7,824	7,631	102.5%
	米国	9,834	9,025	109.0%
	その他	890	808	110.1%
	合計	18,548	17,464	106.2%
フローズン	豪州	11,217	10,273	109.2%
	米国	4,634	5,016	92.4%
	その他	1,232	1,964	62.7%
	合計	17,083	17,253	99.0%

単位：ｔ　　出典：食肉速報

小動物事業部

農畜産業振興機構によると12月の豚肉需給量は、供給面で生産量が7万9,559ｔ（前年同月比98.8%）、輸入量が8万3,113ｔ(同113%)、合計で16万2,672ｔ(同106%)。一方、推定出回り量は、国産品7万8,169ｔ（同98%）と減少したが、輸入品は8万3,234ｔ（同109.2%）。合計で16万1,403ｔ（同103.5%）と前年同月を上回った。この結果、推定期末在庫は国産品1万6,946ｔ（同100.9%）と、輸入品15万3,880ｔ（同105.8%）、合計17万826ｔ（同105.3%）となった。

1月の全国と畜頭数は前年同月並みの139万5,609頭となった。一方、同月の豚肉通関実績は、総量で7万4,300ｔ(同98.1%)と前年同月から減少したが、チルドは3万2,194ｔ（同106.5%）と増加が続いている。内訳は、米国1万5,941ｔ(同93.4%)、カナダ1万5,321ｔ(同125.7%)、メキシコ929ｔ(同96.3%)とカナダの増加が影響している。フローズンは4万2,106ｔ（同92.5%）で内訳は、デンマーク8,739ｔ(同78.8%)、スペイン8,963ｔ(同107.4%)、メキシコ6,092ｔ(同110.2%)、米国4,520ｔ(同80.1%)、カナダ2,484ｔ（同74.6%）となった。

＜2月の豚取引の推移＞

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	65,300	514	492	870
2日	63,300	518	490	897
5日	65,700	520	491	715
6日	64,900	513	495	908
7日	63,700	546	503	715
8日	67,300	519	493	892
9日	66,300	519	481	945

上旬の全国と畜頭数は1日あたり6万5,214頭と前年を上回る頭数となり、当市場においては平均849頭であった。月初の手当てにより引き合いが強まったことや豚カツ需要の増加などにより上昇気配をみせた。一方、全国的に厳しい寒さが続き出荷頭数にも影響を及ぼした。全国と畜頭数は6万5,000頭前後となり相場展開も大きな変動はなく強含みの展開となった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
13日	74,900	502	476	733
14日	69,600	500	469	1,008
15日	69,200	478	460	889
16日	68,800	474	446	1,032
19日	65,200	448	431	848
20日	68,000	463	421	1,021

中旬の全国と畜頭数は1日あたり6万9,283頭で、当市場においても平均922頭といずれも前年を上回った。

全国と畜頭数は週明けの13日は7万4,900頭まで増加し、その後も7万頭近い出荷頭数が続いた。一方、枝肉価格は一転下落傾向となり全体的に荷動きは鈍い状態にある。バラは一時期に比べると落ち着き比較的堅調な状況だが、ウデ、モモなどのスソ物は凍結回しとなるケースが増加している。フローズンは引き続き荷動きが鈍い状態が続いている。決算期を前に在庫を持ちたくない為、一部では投げられるケースもあるものの、価格はそれほど下がっていない。モモはチルドからの凍結回しが増えており在庫を抱えている状態。関東周辺からの出荷は増えている一方、消費は鈍い状況が続いている。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
21日	66,000	448	399	792
22日	67,900	427	364	863
23日	65,800	462	404	871
26日	66,000	391	374	878
27日	67,400	406	384	885
28日	66,200	413	378	709

下旬の全国と畜頭数は6万6,550頭と前年を上回った。

週明けの26日から相場は急落した。枝肉価格の低迷状況は続いており全体的に荷動きが鈍い状況となっている。引き続きロースや肩ロースなどのロイン系は動きが悪くヒレバラについても引き合いは弱まっている。

＜3月の豚枝肉相場見通し＞

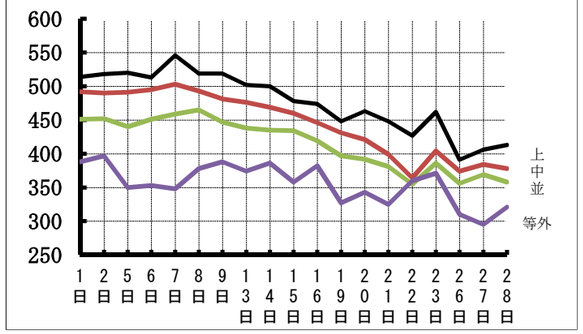
農水省による3月の全国と畜頭数予測では、141万3,000頭（前年同月比98%）と減少しており、一日当たりの頭数は約6万7,286頭（21日稼働）を見込んでいる。当市場の3月の集荷予定頭数は1万7,500頭となっており、一日当たりでは約833頭の見込みである。

また、農畜産業振興機構によると3月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万5,200ｔ（前年同月比92.6%）の予測となっている。内訳はチルドが3万2,700ｔ（同89.7%）、フローズンは4万2,500ｔ（同94.9%）の予測である。

3月は気温も徐々に上昇するだけに鍋物需要も減っていく為、バラは荷動きが鈍ってくることが予想される。また、スソ物に関しても下旬は春休みにより学校給食がなくなる為、一時的に引き合いは弱くなることが予想される。しかし、春はさまざまなイベントがあり、行楽シーズンにもなることから荷動きは徐々に回復することが期待できる。

以上の状況から、3月の加重平均は上物価格で450円前後、中物価格は430円前後と予測する。

豚　日別相場表（2月）



出荷者の皆様へ

ＰＥＤをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南２－７－１９

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL http://www.tmmc.co.jp/